

## **(仮称)石狩市地域誌資料センター入館料検討資料**

- 1 . (仮称)石狩市地域誌資料センター入館料について
- 2 . 入館者数予測資料
- 3 . 運営費用積算表
- 4 . 道内博物館施設入館料調査表
- 5 . (仮称)石狩市地域誌資料センター位置図
- 6 . 展示室完成予想図

## 〔仮称〕石狩市地域誌資料センターの入館料について

### 1. 有料化について

石狩市教育委員会は、昭和 57 年に町公民館内に郷土資料室を設置し、平成 5 年から旧石狩町役場庁舎内で郷土資料の公開を無料で行ってきた。

（仮称）地域誌資料センターは、展示や運営などの面において一新され、これまでの「郷土資料室」とはまったく異なる機能を有する施設となる。そのため、入館者に対し施設の維持管理経費の一部の負担を求めるものである。

### 2. 入館料の算定

本センターの入館料の算定にあたり、入館者数について、資料センター周辺の主要な施設である番屋の湯、番屋の宿の利用者数、および弁天歴史通りで開催される「さけまつり」の来場者数を参考に、その約 1% の 5,600 人と算定した。（「入館者予測資料」参照）

運営費の算出は、市の施設使用料を検討する際に用いた「使用料実態調査表」を一部変更して、入館者 1 名あたりの経費を入館料の目安として求めた。その結果、入館者 1 人あたりの経費は約 1,736 円（I）となった。

一人あたりの経費のうち 9 割を行政が負担し、入館者には一割程度の費用負担を求めるとすると、10% で約 174 円であり、端数を整理して 200 円が適当であると考えられる。

**3. 徴収方法** 入館料の徴収は、徴収の手間を省くため、券売機の使用を予定している。受付には臨時職員を配置するが、現金の受け渡しはなく、入館券の有無を確認するだけであり、臨時職員の作業の 1 割程度の作業量になると考えられる。

徴収にかかるコストは、発券機の年間リース料 156,000 円、同消耗品費 40,000 円、受付の臨時職員賃金 180,000 円で、あわせて約 375,000 円となる。これに対し、入館料収入は、1,000,000 円（200 円 × 5,000 名）が見込まれる。

### 4. 入館料の免除

下記の入館料は免除する。

中学生以下

教育長が必要と認めるもの

表3：運営費用積算表

使用料の名称：地域誌資料センター入館料				担当部課名：生涯学習部文化財 博物館開設準備室			
<b>維持管理経費</b>				<b>19,296 千円</b>			
<b>経費合計(D)</b>				<b>20,618 千円</b>			
人件費	9,747	単価	人数	按分率	計	利用状況（一般開放利用者を除く）	
		常勤（課長）	10,721	1	0.20	2,144	平成12年度
		（主査）				0	人(E)
		（担当）	7,119	1	0.80	5,695	平成13年度
		兼務（主査）	9,540	1	0.20	1,908	人(E)
		（担当）				0	平成14年度
		非常勤				0	人(E)
賃金	1,716	管理	1,716	その他			想定入館者数
需用費	556						5,000 人(E)
光熱水費	366	水道	366	電気	ガス		平成15年度開館予定日数
燃料費	114	暖房用	114	給湯用			306 日 (F)
消耗品費	76						1日の平均利用人数
修繕料	0	H 1 2		H 1 3	H 1 4		16.3 人(G)
その他							
役務費	101	電話	101	保険	その他		
委託料	1,352	管理	1,352	その他			
借上料	5,824						
備品購入費	0	H 1 2		H 1 3	H 1 4		
その他							
<b>減価償却費</b>				<b>1,322 千円</b>			
〔算式〕	改造・展示工事費	33,033	×	0.9	×	0.042	
	初度調弁備品	1936					
施設の概要							
建設年度		構造		非木造			
施設の面積等							
面積合計(A+B)		358 m <sup>2</sup> (C)					
一般公開分	面積	その他（共用部分）		面積			
展示室	140	資料処理室		54			
		トイレ		38			
		収蔵庫		126			
計(A)	140	計(B)		218			
使用料にかかる根拠条例等							
減免規定							
1日当たりの経費 (D÷F)				67,380 円(H)			
入館者1名当たりの経費 (D÷E)				4,123.65 円(I)			
入館者1名当たりの経費(I)の5%				206.18 円(J)			

(職員費は、平成14年度、賃金その他は平成16年度予算を使用した。)

### 入館者予測

項 目	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平 均	1%	2%
番屋の湯利用者	479,433	477,107	436,650		464,397	4,644	9,288
番屋の宿利用者	21,612	21,254	10,169		17,678	177	354
さけまつり	70,000	75,000	85,000	85,000	78,750	788	1,575
合計						5,608	11,217

### 参考

項 目	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平 均
海水浴客	450,000	415,000	192,000	168,000	306,250
ビジターセンター利用者数	52,691	49,917	49,755		50,788
観光ボランティア利用者数		1,312	1,797	1,934	1,681
海浜植物保護センター入館者数	6,889	7,233	8,552	8,037	7,678
郷土資料室	1799	1415	1823	1877	1,729

道内博物館施設入館料調

館園名	開設年	面積 (㎡)	入館料 (大人)	大学生	高校生	中学生	小学生	入館者数	備考
かみすながわ炭鉱館	1994	367	100	100	100	50	50	7,960	
美唄市郷土史料館	1981	508	100	100	100	50	50	7,291	
夕張市美術館	1979	571	100	100	100	50	50	6,600	
小樽市博物館	1956	637	100	100	100	50	50	66,845	
市立函館博物館	1880	2,502	100	50	50	50	50	8,617	
浜益村郷土資料館			100	100	100	100	30		
下川町ふるさと交流館	1992	468	200	200	200	100	100	7,811	
中川町エコミュージアムセンター	2000	519	200	200	無料	無料	無料	961	
名寄市北国博物館	1996	724	200	200	無料	無料	無料	11,441	
江別市郷土資料館	1992	977	200	200	200	100	100	3,386	
江差町郷土資料室	1971	1,630	200	200	100	100	100	2,842	
松前町郷土資料館	1975	530	270	270	270	160	160	824	
瀬棚町郷土館	1975	389	300	300	150	150	150	785	
穂別町立博物館	1982	472	300	300	100	100	100	17,289	
芦別市星の降る里百年記念館	1994	497	300	300	200	100	100	9,967	
忠類ナウマン象記念館	1988	542	300	300	300	200	200	22,477	
留萌市海のふるさと館	1989	557	300	300	200	100	100	61,401	
足寄化石博物館	1999	629	300	300	200	200	200	18,602	
余市水産博物館	1969	649	300	300	300	100	100	3,443	
熊石町歴史記念館	1987	1,063	300	300	150	150	150	1,351	
江差追分会館	1994	1,208	300	300	150	150	150	40,300	
道立三岸好太郎美術館	1967	1,248	300	150	無料	無料	無料	17,011	
苫小牧市博物館	1985	1,299	300	300	200	無料	無料	20,359	
月形樺戸博物館	1997	1,346	300	150	150	100	100	16,119	

館園名	開設年	面積 (㎡)	入館料 (大人)	大学生	高校生	中学生	小学生	入館者数	備考
道立文学館	1996	3,502	300	150	無料	無料	無料	31,121	
江別市セラミックアートセンター	1995	4,100	300	300	300	150	150	17,476	
北海道近代美術館	1977	9,144	300	150	無料	無料	無料	321,454	
北海道開拓記念館	1971	12,947	300	100	無料	無料	無料	133,632	
三笠市立博物館	1979	955	310	310	310	100	100	18,449	
旭川兵村記念館	1982	364	400	300	300	200	200	5,680	
増毛町総合交流施設元陣屋	1997	532	400	400	300	200	200	23,158	
椴法華村灯台ファミリー博物館	1996	711	400	400	200	200	200	6,323	
神田日勝記念館	1994	479	510	510	300	200	200	21,363	
滝川市美術自然史館	1986	1,193	600	600	360	240	120	27,831	
北海道開拓の村	1982	54,200	610	450	無料	無料	無料	218,840	
開陽丸青少年センター	1987	4,356	700	700	300	300	300	29,917	
札幌市青少年科学館	1983	10,017	700	700	700	無料	無料	360,613	
千歳サケのふるさと館	1995	2,989	800	500	500	300	300	235,417	
小樽交通記念館	1996	1,497	940	940	940	470	470	69,535	
恵庭市郷土資料館	1991	1,037	無料	無料	無料	無料	無料	8,078	
厚田村郷土資料室			無料	無料	無料	無料	無料		

北海道博物館協会編『平成14年度北海道博物館協会加盟館園現況』による。

### 思いでハンズオンコーナー

#### 手づくり伝統工場 (伝統加工体験)

伝統発祥の地「石狩」で来館者が石狩産物で集めた砂や貝・流木、センター内に用意されている品物を選んでオリジナルな伝統を作り、思い出を家運持ち帰るという企画です。また、素材のったテーブルは移動が可能で、人数に応じた増設も可能です。



### 鮭の一生レリーフ

鮭の成長過程を表したレリーフです。触ることで、肌をせて写し取る体験も可能です。また、組合せ自由のテーブルにより鮭の並び方を変えることや魚の種類も可能です。



### 伝統の作り方

来館者が持ち帰ったモノ「石狩の思い出」を自由にレジンカとして成形してプレスし、各テーブルを回り回って伝統を作ります。誰でも楽しめる仕組みにより大人から子供までの伝統加工体験を可能とします。



### 石狩料理のルーツを探る

紅葉山49号遊廊からの縄文期縄巻の遺構(エリなど)・アイヌ民族の縄巻・現代の石狩郷などに由来する、古代から豊かな恵みの下で生きてきた先人の知恵を来館者に伝える展示をめぐらします。



## 2F 展示室コンセプト

2階は現在発掘が進められている紅葉山49号遊廊を「ムラ」「エリ」「モノ」「サケとヒト」という四つのコーナーから紹介し、石狩の豊かな恵みの下で生きてきた縄文時代の人々の文化を来館者に紹介します。

### 石狩・浜辺からの手紙

来館者自身が石狩を展示するポット付のタビストーリーです。浜辺やその周辺で見つけた砂や流木、ロシア・中国からの郵便物など、互つた物をポットに入れ、手紙を添えることで次の来館者に感動を伝えます。



### いしかり何でも情報コーナー

#### 石狩エリア・グルメマップ

観光・学習の拠点として石狩の北所・興道建設・グルメ、さらに当センター所蔵資料などの情報を来館者に提供します。ここで採用する情報検索システムでは特許取得の検索システム「Papyrus」を採用します。低コストで、インタラクティブな展示を実現します。



パピルス「Papyrus」は本館、収蔵品管理のソフトであり、資料管理の他にも活用できます。

## 1F 展示室コンセプト

石狩のシンボルは鮭です。1階ではその特色を物語るために、海・川・河口という三つのゾーンから鮭の恵みを見えるような展示をめぐらします。また、市民とつくる展示・最新の研究成果の発表の場を設けます。これらの展示は常に展示内容の更新ができることを特色とします。

